

一 般 質 問

平成24年12月6日（木）

2 番 上 村 賢 議員

1. 後天性免疫不全症候群について

- ①厚生労働省のエイズ動向委員会による報告では、北海道における2011年1年間の新規H I V感染者18人・エイズ患者10人で合計28人、2011年12月末までの累積人数は、H I V感染者175人・エイズ患者115人と報告されています。月平均約2.3人がH I V感染またはエイズ発症が判明しています。過去最多であった2009年より減少していますが、H I V抗体検査件数が2009年約4,000件だったのに対し、2011年は3,272件まで減少しているため、見かけ上、新規のH I V感染者・エイズ患者も減少した可能性が疑われています。そこで、
- イ. 本市としてH I V・エイズに関してこれまでにどのような啓発を行っているのか。また、H I V抗体検査の保健所での実施状況はどのようになっているのか伺う。
 - ロ. 本市ではこれまでに、H I V感染者・エイズ患者の報告はあるのか伺う。
 - ハ. 近年、性に関する情報のはんらん、性の商品化等児童生徒を取り巻く社会環境が変化し、性に関する問題も多様化している状況から、学校における教育の役割は極めて重要であると思えるが、本市における対応を伺う。

2. ジェネリック医薬品について

- ①厚生労働省は割安な後発医薬品の普及促進が医療費抑制に効果的と判断致し、医療用医薬品に占める数量シェアを2004年度の16%から2012年度には30%以上にするという目標を掲げております。
- イ. 純正医薬品とジェネリック医薬品との成分や効果の違いや安全性など、市の認識を伺う。
 - ロ. 本市の国民健康保険世帯のジェネリック医薬品の使用状況とこれまでの推進に向けての取り組みについて伺う。
 - ハ. シェアがドイツ並みの4割まで上がると8,800億円の医療費抑制効果があると言われております。ジェネリック医薬品が普及した場合、本市の国保会計に与える効果を伺う。

3. 給食の安全管理について

- ①例年、12月初旬から一気に増え、年末にピークを迎えるノロウイルス。そこで、給食の安全管理について伺う。
- イ. 学校給食の安全確保のための調理場の衛生管理体制をどのように運営しているのか。特に、衛生管理のポイントになるところは、具体的な説明を伺う。
 - ロ. これまでの保健所の立入検査の状況、そして指摘や指導が文書あるいは、口頭であったならば、内容を伺う。
 - ハ. 御飯、パンなど外部委託業者の衛生管理状況は、どうなっているか。また、その工場の管理状況のチェックは誰がどの様に行っているのか。そのことについて、給食センターはどのようにかかわっているか伺う。
 - ニ. センターから学校へ配送されてからの管理は、どの様になっているのか。また到着後、児童が食べるまでの平均時間はどのくらいなのか伺う。

4. 当別ダムより供給される水質について

①平成23年度水質検査結果表を見ると、旧石狩市内の水質は、おおむね弱アルカリ性で、硬度が低い軟水と言える。そこで、

イ. 当別ダムから供給される「水」はどのような水質になるのか、具体的に伺う。また、現供給水の多くは、地下水であることから、年間を通して、水質の安定性があると思えるが、当別ダムからの水は表流水となる事で、季節により水質変化があると思われる。1年間でどのような水質変化の予測をしているのか伺う。

ロ. 平成24年度水質検査計画では、原水に対して二酸化塩素の使用をしていないが、新原水は処理過程で二酸化塩素および次亜塩素酸は使用されるのか伺う。また、当別ダムから市内の配水場、そして、各家庭へ水は送水管を通り供給されるが、何度の塩素処理がされるのか伺う。

ハ. 表流水は地下水に比べ、汚濁・浮遊物へのリスクが高くなると思われるが、消毒液耐性を有するクリプトスポリジウム、ジアルジアの対策がどの様に行われるのか。また、クリプトスポリジウム、ジアルジアの判定などはどの様にどこで行われるのか伺う。

1 番 阿 部 裕 美 子 議 員

1. 障がい者の法定雇用率引き上げについて

①石狩市職員の障がい者雇用率について

②石狩市内の民間企業への障がい者雇用率引き上げへの呼びかけについて

2. 避難訓練について

①小・中学校の冬期の避難訓練について

②町内会等で指定避難所と連携した訓練を行う必要性について

③市役所本庁舎、両支所及び他の公共施設での避難訓練について

3. 凍結路面对策として砂箱設置について

①凍結路面での歩行者転倒防止の為、砂箱設置箇所を増やす目的で、民間協力により歩行者用砂箱を設置する事について

4. いじめ防止対策について

①石狩市内のコンビニエンスストア・スーパーマーケット・その他商業施設などといじめを発見した場合に通報する協力体制について

1. 来年度の予算編成について

- ①総選挙の結果によってどうなるか極めて不透明なかでの予算編成作業と考えるが、6月21日に3党合意された「税と社会保障の一体改革」を元にした9月に総務省が出した「来年度地方財政の課題」が一つのベースになると考える。その評価について。
- ②市の「財政規律ガイドライン」2年度目となるが、財政の顕著な好転もあり、①との関係を含め、地域経済対策や防災、住民福祉の向上をはかる予算編成を求めたい。

2. 社会保障制度改革推進法について

- ①この法制の全体的な認識と評価について。
- ②世界に誇る国民皆保険が原則として規定されるなど医療保険制度の大きな後退が懸念される。どのような見解と対応をされるか。
- ③介護保険制度はこれまでも度々公費の削減がされてきた。本年度の訪問介護時間短縮に続き、さらに効率化・重点化を図る計画となっている。本年度を含めたこれまでの検証と併せ、これ以上の負担増やサービス削減は限界と考えるがいかがか。

3. 浜益5施設の指定管理について

- ①向こう4年間の指定管理者が選定されたが、提案された事業者の選定に至った要素を示されたい。また、職員の待遇やサービスの維持向上について改めて伺う。

4. 風力発電建設計画について

- ①石狩湾新港地区に計画されている風力発電建設計画に対する各々の市の対応について
- ②厚田地区の風力発電計画の住民説明会が行われたが、住民からの多様な質問に適切に答えきれない時間配分で終了した。改めて再開すべき。

5. 浜益・厚田の水道料金について

- ①値上げの要因などを真摯に勘案すれば浜益・厚田区の水道料金据え置きは至極自然である。改定料金の条例発効まで時間があり、再考を求めたい。

1. 自治基本条例について

- ①庁舎内で条例の検証を実施したか
- ②市民参加での検証を実施する考えについて
- ③ワールドカフェ開催の期待した効果と結果について
- ④市民意識調査の実施について

2. 生物多様性の保全について

- ①北海道生物の多様性に関する条例（仮称）に対する市の施策の制定及び地域連携保全活動計画

の作成について

3. 自殺予防対策について

- ① 22年度作成したDVDの活用状況と出前講座について
- ② 企業向けPRの効果について
- ③ 市が実施したところの健康推進事業として実施しているゲートキーパー養成研修について、民間が行っている事業と連携する考えについて

4. (仮) 放課後児童会樽川クラブの開設について

- ① 開設場所として樽川浄水場を予定しているがこの場所を選定した理由について
- ② 児童館を持つことは可能か。予定場所は児童館機能を考えるべき
- ③ 実施設計から財産取得、改修工事の総額は現状でどの程度と推測しているのか

5. 石狩市学校版環境ISOについて

- ① 小中学校の目標達成率と総合計画で2005年度から2011年度までに全校で実施するとしていたが目標を達成できない問題点と課題及び今後の取り組みについて
- ② 環境課と教育委員会との連携について

16番 花田和彦 議員

1. 市内の河川に架かる橋について

- ① 耐震対策について
- ② 長寿命化への取り組みについて

2. 市営墓地について

- ① 現在の市営墓地設置箇所について
- ② 現在の市営墓地の空き状況並びに募集状況について
- ③ 来年度以降の市営墓地整備計画並びに募集計画について

3. ノロウイルス・マイコプラズマ等の感染症対策について

- ① 高齢者施設等に対する注意喚起などの行政指導の状況について
- ② 小中学校・保育所・幼稚園等に対する注意喚起などの行政指導の状況について

4. 通称3線浜の夏場における環境等の対策について

- ① 現状認識と概要並びに今後の対策について

5. 友好都市「輪島市」との今後の交流について

- ① 文化交流・経済交流を含めた、今後の交流の進め方について
- ② 災害時相互扶助の体制について